

# 貿易業界で働くための 貿易用語 チェックリスト

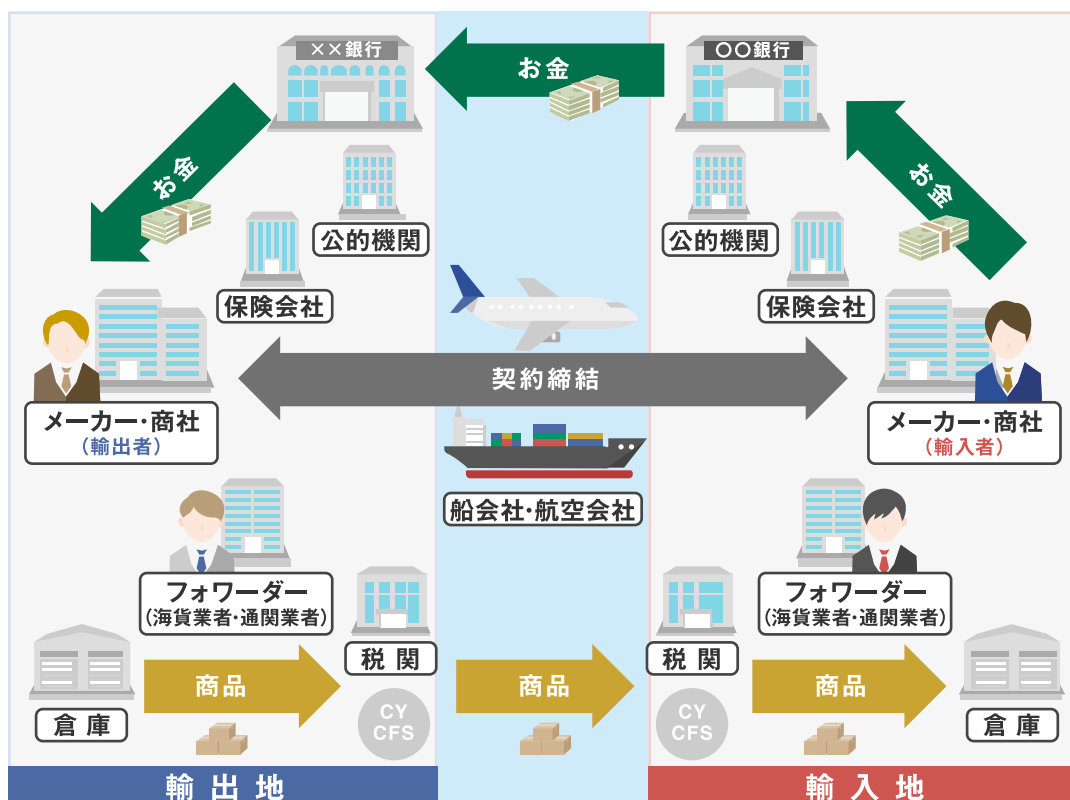
入門編

まずはここから! 押さえておくべき貿易用語

「これだけは覚えよう! 貿易業界で働くための貿易用語チェックリスト」は、貿易事務の仕事で使われる用語をまとめた eBook です。【入門編】では、これから貿易業界に携わりたいと思う方に向けて、現場でよく使われている貿易用語をリストアップしました。貿易事務の仕事や勉強のお供に、ぜひご活用ください。

## 貿易業界に進むなら押さえておくべき 会社と機関&モノとカネの流れ

貿易取引というのは基本的に「モノを売り買い」することで、その主役は「輸出者(売主)」と「輸入者(買主)」です。ですが、その取引には船会社、運送会社、銀行、税関など実にたくさんの企業や公的機関の間で、さまざまなやりとりや手続きが行われて成り立っています。



チェック!

- 税関 …………… 外国と交通する場所(港、空港、国境)にあり、輸出入貨物の取り締まり(貨物や書類の審査・通関許可)、関税や消費税など税の徴収、保税地域の管理などを行う国家機関。  
※保税地域は3ページ目を参照ください。
- フォワーダー …… 港湾において貨物の搬出入や手続きを行う海貨(かいが)業者、輸出入貨物を税関へ申告手続きを行う通関業者など国際物流を専門とする会社の総称。日本では慣例として「乙仲(おつなか)」と呼ばれることもある。

押さえておきたい!

## 貿易取引に使われる主な書類

貿易事務のお仕事では、書類を作成したり、チェックしたりする機会が数多くあります。その書類が「何のための」書類なのか、「誰が」「誰に」向けて作成しているのかを把握しておくことが大切です。

	書類の名称	略語	内容	作成者
<input type="checkbox"/>	信用状 (Letter of Credit)	L/C	輸入者の取引銀行が輸入者の代わりに商品代金の支払いを保証する支払い確約書。輸出者は「商品代金回収のリスク」、輸入者は「商品入手のリスク」を回避することができる仕組みを持つ。初めての相手と取引や支払い金額の大きい大型取引などで利用されている。通称エルシー。	輸入者が依頼 (銀行が発行) 
<input type="checkbox"/>	ふなにしょうけん 船荷証券 (Bill of Lading)	B/L	船会社が輸出者の貨物の受取時または貨物の船積み後に発行する書類で、「誰が(どこから)」「誰に(どこに)」「何を」を運んでいるのかが記載されている。通称ビーエル。船荷証券の原本(オリジナル B/L)には有価証券の性質があり、オリジナル B/L の所有者は、その書類に記載された貨物の譲渡や引取りの権利を持つ。貿易事務が取り扱う書類の中で最も重要な書類。	船会社 
<input type="checkbox"/>	サレンダー B/L (Surrendered B/L)	-	船会社から輸出者に向けて発行された船荷証券の原本(オリジナル B/L)を、輸出者が船会社に戻し(回収してもらい)、あらかじめ発行してもらった B/L(元地回収 B/L)。有価証券の性質はなくなる代わりに、輸入者はオリジナル B/L を呈示しなくても貨物を引き取ることができるようになる。	船会社 
<input type="checkbox"/>	シーウェイビル (Sea Waybill)	SWB	B/L 同様、「誰が(どこから)」「誰に(どこに)」「何を」を輸送しているのかが記載されている運送状。B/L と異なり有価証券の性質はない。貨物は書類に記載された「Consignee(荷受人)」に引き渡される。	船会社 
<input type="checkbox"/>	エアウェイビル (Air Waybill)	AWB	航空輸送の際に、航空会社または、利用航空運送事業者(混載業者)が輸出者に発行する運送状。「誰が(どこから)」「誰に(どこに)」「何を」を運んでいるのかが記載されている。	航空会社または 利用航空 運送事業者 
<input type="checkbox"/>	インボイス (Invoice)	I/V	輸出者が海外へ貨物を発送するときに作成する書類。別名、送り状。輸出貨物の品名、数量、価格などを記載した「明細書」であり、輸入者への「納品書」「請求書」の役割も兼ねている。	輸出者 
<input type="checkbox"/>	パッキングリスト (Packing List)	P/L	輸出者がインボイスとともに作成する輸出貨物の梱包明細書。貨物をどのように梱包しているか(梱包仕様)、梱包数、重量、サイズ、外装に記したマークなどが記載される。	輸出者 
<input type="checkbox"/>	SHIPPING インストラクション (Shipping Instruction)	S/I	(1) 輸出貨物の船積依頼書。B/L の元になる書類で、輸出入者名、船積港・荷降港、商品明細など、船積み手続きに必要な情報が記載される。 (2) 輸入者が輸出者に対して商品の船積を指図する書類。	(1) 輸出者または フォワーダー  (2) 輸入者 
<input type="checkbox"/>	原産地証明書 (Certificate of Origin)	C/O	輸出入貨物の原産地を証明する書類。輸入者が特惠税率(関税の減免)などの適用を受ける際にも必要となる。	輸出者が申請 (公的機関が発行) 
<input type="checkbox"/>	保険証券 (Insurance Policy)	I/P	保険会社が、貨物保険を申し込んだ申請者(輸出者または輸入者)に発行する書類。保険の対象となる貨物や輸送に関する情報、保険条件、保険金額などが記載されている。	保険会社 
<input type="checkbox"/>	ふなづみつうち 船積通知 (Shipping Advice)	S/A	輸出貨物の船便(航空便)が確定した後に、輸出者が輸入者へ船名(航空便名)やスケジュールなどを知らせる書類。メールや FAX で行われるのが一般的。	輸出者 
<input type="checkbox"/>	アライバルノーティス (Arrival Notice)	A/N	船会社が輸入者に船の到着を知らせる通知書。B/L に記載された内容と、船の入港日が記載されている。FAX で送られてくることが多い。	船会社 
<input type="checkbox"/>	にわたしさしずしょ 荷渡し指図書 (Delivery Order)	D/O	船会社が貨物の引き渡しを指図する書類。輸入者が輸出者から受け取った B/L を船会社に持ち込み、交付してもらう。	船会社 
<input type="checkbox"/>	コンテナ明細書 こんでないせきふひょう (コンテナ内積付表) (Container Load Plan)	CLP	コンテナ内に積載された貨物の明細を記載した書類。FCL 貨物では輸出者またはフォワーダーが作成し、LCL 貨物では CFS オペレーターが作成する。	輸出者または フォワーダー 
<input type="checkbox"/>	かわせてがた 為替手形 (Bill of Exchange)	B/E	三者間の取引に利用される手形で、貿易取引では輸出者が(輸出地)銀行に委託し、輸入者に商品代金を支払ってもらうために作成する。	輸出者 
<input type="checkbox"/>	保証状 (Letter of Guarantee)	L/G	(輸出者からの B/L が遅れるなど) 輸入者が船会社に B/L 無しで貨物引き渡しを依頼する際に差し入れる念書。万一船会社に損害が発生した場合には補償することを約束する。通常、輸入者の取引銀行が連帯保証し、Bank L/G(荷物引取保証)という。	輸入者 
<input type="checkbox"/>	クレジット・ノート (Credit Note)	-	貿易取引において、(不良品や欠陥品の)返金、値引きが発生した際に作成される、輸出者が輸入者に対して返金を約束する(債務を認める)書類。	輸出者 

一緒に押さえておきたい!

## 現場でよく使われる貿易用語

貿易事務の仕事をはじめ、貿易業務の現場では普段の生活で耳にしない言葉が使われています。書類以外にも、これだけは覚えておくと便利!という貿易用語をピックアップしました。

<input type="checkbox"/>	<b>ディスクレ (Discrepancy)</b>	信用状に記載された条件と、輸出者が提出した船積書類の記載内容が「不一致」であることを「ディスクレ」という。ディスクレが発生した場合、輸出地の買取銀行は手形が不渡りになり、輸入地の開設銀行に支払ってもらえない可能性があるため、買取を拒否する。その場合、輸出者にはペナルティ料が課せられ、書類を再提出する必要がある。
<input type="checkbox"/>	<b>ETD (イー・ティー・ディー) ETA (イー・ティー・エー)</b>	ETD は出港予定日「Estimated Time of Departure」、ETA は入港予定日「Estimated Time of Arrival」の略。船積通知 (S/A) の際にお知らせするメイン情報。
<input type="checkbox"/>	<b>T/T (ティー・ティー) 送金 (Telegraphic Transfer)</b>	国内での銀行振込のように外国へ商品代金を支払う、外国送金の代表的な方法。電信送金。
<input type="checkbox"/>	<b>保税地域</b>	輸出入の許可が下りるまで貨物が蔵置される特別地域。国際貨物船や飛行機の国際線が発着する、港湾や空港の近くに設置されている。
<input type="checkbox"/>	<b>FCL (エフ・シー・エル) 貨物 (Full Container Load Cargo)</b>	一荷主の貨物だけで一本のコンテナを占有した貨物。輸出入国の保税地域ではコンテナ・ヤード (CY) に輸送される。
<input type="checkbox"/>	<b>LCL (エル・シー・エル) 貨物 (Less than Container Load Cargo)</b>	複数の荷主の貨物を混載して、一本のコンテナに仕立てた貨物。輸出入国の保税地域ではコンテナ・フレート・ステーション (CFS) に輸送される。
<input type="checkbox"/>	<b>フリータイム (Free Time)</b>	輸入された貨物が蔵置されている、港のコンテナ・ヤード (CY) やコンテナ・フレート・ステーション (CFS) に“無料”保管してもらえる期間のこと。引き取り猶予期間。
<input type="checkbox"/>	<b>デマレッジ (Demurrage)</b>	フリータイムの期間内にコンテナを引き取ることができず、引き続き留置する際に発生する超過保管料。

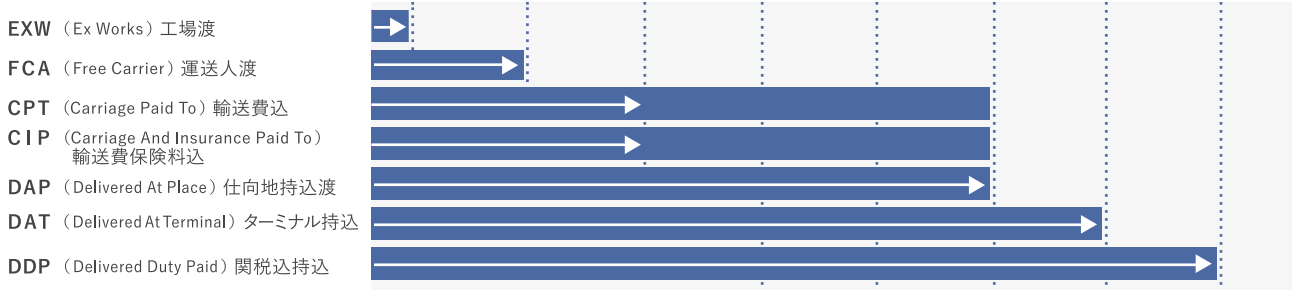
貿易事務を目指すなら必須の知識!

## 貿易取引条件「インコタームズ」(2010年版)

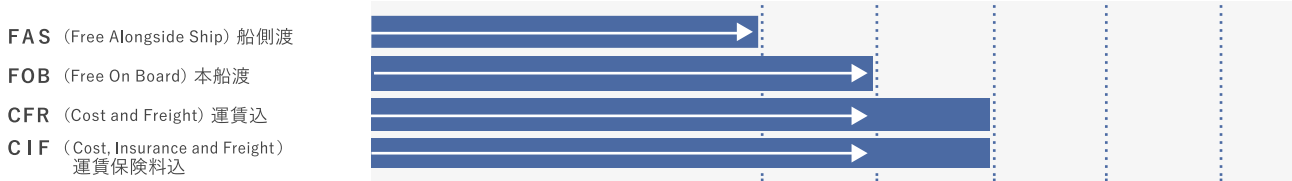
貿易取引では、商品にかかる費用以外に、運送料、保険料、通関費用、関税など、さまざまな費用がかかります。インコタームズは、その商品価格がどこまでの費用を含むのか、また、どこまでの運送中のリスクを負担するのかで定められた世界共通のルール。輸出者 (売主) の費用負担の範囲と危険負担の範囲をそれぞれ覚えておきましょう。



### 【いかなる単数または複数の輸送手段にも適した規則】



### 【海上および内陸水路輸送のための規則】



輸出者 (売主) の費用負担の範囲

→ 危険負担の範囲 →

※ 港湾だけでなく、輸入国内の空港、鉄道の駅などを指定仕向地とすることもできる。